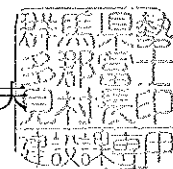


(富建第 5723 号)
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

富士見村長 福 島 節 夫



今後の道路行政についての意見・提案について

このことについて、別紙のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

群馬県富士見村

①交通事故対策(通学路を主とした歩道の設置など)

②通勤・通学などの日常の暮らしを支える生活幹線道路の整備

③地域活性化や物流のため都市や交通拠点を結ぶ道路の整備

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

○現状

生活道路網

富士見村は、古くからの農家集落散在型の典型的な「田園都市」のため、生活道路＝村道は不正形で幅員狭少な道路網である。
このため、村内4つの小学校区の通学路ネットワークも極めて不連続的な形態であり、改善の効率も悪い。

幹線道路

東西方向の幹線道路は主要路線として4路線あり、十分なラインアップが整いつつある。
しかし、南北方向の幹線道路は主要路線としては2路線存在しているがクランク形状であり、機能的に十分とはいえない。

○課題

古い歴史の中から形成された不連続的村道を機能的にかつ歩行者等の安全性確保に向けて全村的に整備していくことは極めて非効率である。
そこで、現状の村道を改良していくという考え方に替えて幹線道路網を補完（補助幹線道路機能）すると同時に、居住環境区内の歩行者の安全性を高めるための歩道付き主要生活道路網を配置することによる、「歩行者等ネットワーク幹線網」を新たに構成したい。

東西方向の幹線道路網としては、近い将来、国道17号バイパス（上武道路）が整備されることにより、広域交通機能的には完成形に近づくため、南北方向の村内貫通路線の新設配置を行う。

この場合、上武道路の交差位置が確定しているので、これを条件ポイントとするルート設定を行う。

富士見村の地場産業活性化のためには、上武道路とのアクセス性向上、すなわち村内を南北に縦貫する道路整備が最も重要である。
これがさらに母都市前橋市とのアクセス性改善策でもあり、村民の生活利便をも飛躍的に向上させる。

1、生活道路は住民から改善要望のある路線を延伸させるルートを最重視する考え方により主要生活道路として配置及び整備を実施する。その他の村道については主要生活道路との取付けに必要な改善・改良をていく。

2、歩道つき主要生活道路網を配置することによる、「歩行者等ネットワーク幹線網」を構成したい。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④
群馬県富士見村

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域経済の発展	上武道路の建設促進 一般国道17号バイパスとする地域高規格道路の上武 国道(国道50号～国道17号)について、7工区の早期 暫定供用開始と8工区の建設促進	都市間の連携、連絡の強化及び均衡ある発展	
・地域経済の発展及 び交通安全確保	国道353号の整備促進 バイパス工事の整備促進並びに改良を必要とする区間 の拡幅整備及び屈曲部のショートカット化の促進	観光を中心とした経済発展及び交通安全確保	